

## 会議の要旨（議事録）

会議の名称	第2回鳥栖市男女共同参画懇話会		
開催日時	令和5年11月24日 (金曜日) 10:00～11:00	開催場所	鳥栖市役所 南別館2階会議室A
出席者数	委員 10人 事務局 3人	傍聴人数	0人
議題	1. 開会 2. 議事 第3次鳥栖市男女共同参画行動計画の課題について意見交換 3. その他 4. 閉会		
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A、Bグループのワークシート</li> <li>・ 「女性に対する暴力をなくす運動」市報特集記事（Aグループ用）</li> <li>・ とす男女共同参画市民実行委員会活動実績報告（Bグループ用）</li> <li>・ A・Bグループの検討するにあたっての参考資料（以下の前回の資料を使用）</li> </ul> <b>【前回の資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度第2次鳥栖市男女共同参画行動計画（後期取組状況報告書）     ・・・資料2</li> <li>・ 第3次鳥栖市男女共同参画行動計画</li> <li>・ 第3次鳥栖市男女共同参画行動計画 概要版</li> </ul>		
所管課	（課名） 市民協働推進課		（電話番号） 85-3508

## 第3回鳥栖市男女共同参画懇話会議事録

### 1. 開会

○市民協働推進課長

### 2. 議事

第3次鳥栖市男女共同参画行動計画の課題について意見交換

《Aグループ》

**Q1. DVの被害経験があるのに、相談しない人が多い要因は何だと思いますか？あなたが考える要因は何だと思いますか？**

- ・被害者が相談するほどのものではないと考えている場合がある。とはいえ、今はそのハードルは下がりがつつある。
  - ・相談できる窓口の周知が必要（どのような窓口があり、どのような相談ができるのか等）。
  - ・相談したことを知られたくない人にとっては、市役所は知り合いがいる可能性があるため、相談しに行きづらい。
  - ・相談することによって、どのような結果が得られるかがわからない（どのような助言がもらえるか、実際に解決に結びつくのか等）。
- ⇒窓口の相談員は専門の知識があり、助言を貰うことができるが、それがあまり知られていない。
- ・身体的な被害はDVであると判断しやすいが、精神的な被害の場合、本人の受け取り方に個人差があり、自分人がDV被害者であるとの自覚がない場合がある。

**Q2. どのようにしたら、被害者の人が市役所等の公的機関の窓口で相談すると思いますか？あなたが考える方法・手段を教えてください。**

- ・対面ではなく、電話ならば相談しやすい（知り合いに会う恐れがないため）。
  - ・相談カードの配布以外に、ポスターで相談窓口の紹介をすると良い。
- ⇒ポスターに窓口への相談と、その結果の事例を紹介できると良い。
- ・被害者は悪くないというメッセージの発信が必要。
  - ・被害者が、自分自身が被害者に該当すると自覚できるようにする方法があれば良い。
  - ・学校に相談カードを配布してはどうか。
  - ・学校でのDV啓発講座はすでに実績がある。このような講座を毎年必ず実施したり、回数や内容をさらに充実させたりできると良い。

**Q3. 内閣府男女共同参画局が毎年11月12日～25日に実施する「女性に対する暴力をなくす運動」月間などに合わせ、市でもDV被害に関する様々なセミナー、チラシ等の啓発活動を実施していますが、当事者以外の人になかなか関心を持ってもらいにくい現状があります。どのような方法・手段であれば、この問題に関心を持ってもらえると思いますか？あなたが考える方法・手段を教えてください。**

- ・市報は見ない人が多い。テレビなど、見る人が多いメディアでのアピールが必要。
  - ・どのようなものがDVなのか、窓口で相談することでどのような結果になるのか、といった内容でポスターの掲示や、市報の記事掲載をすると良い。
- ⇒当事者のプライバシーに十分配慮した上で、実際の事例を紹介できると良い。
- ・自分がDVの加害者になっているのではないかと考えさせる機会が必要。
- ⇒男子トイレに啓発カードをおくと良い。

《Bグループ》

Q1. 鳥栖市では男女参画国際交流係が男女共同参画に関するセミナー等の様々な講座・広報等の啓発活動を実施していますが、それ以外にも生涯学習課等の他の課でも男女共同参画に関わりのあるテーマの講座を実施しています。しかし、近年は人が集う対面の講座が減少しており、開催してもなかなか参加者が集まりにくい現状があります。あなたは、この要因は何だと思えますか？

- ・講座のタイトルに付く「男女共同参画」という言葉自体が固いので敬遠される。主催者の名称には入れていいが、タイトルに入れるのは止めた方がいい。
- ・参加者が少ないということは、講座を開催することが目的化していて、ニーズがないということではないか。困っている人の内容を把握して、ニーズを知り、その関心に沿った講座を開催すべきである。
- ・チラシを保健センター等に置いているが、子どもの健診に来ている親は子どもの世話で忙しく、なかなかじっくり見ることができない。市報も気付いたときには期限が過ぎている場合がある。それよりも、SNSを活用した周知が有効である。そのためには市の公式LINEの登録者をもっと増やす努力を市はすべきである。また、Instagram等で「後、残席〇席」等随時情報を流すことができるという。
- ・参加者を増やすには対面だけでなく、YouTubeでLive配信をする等参加する方法の工夫も必要である。

Q2. 市が開催する男女共同参画に関する講座は、今後、どのような内容・方法でしたらいいと思えますか？また、どのようにしたら、あなたは参加したいと思えますか？

- ・「女性のための～」というタイトルのセミナーがあるが、女性が起業をする場合家庭での男性の家事・育児等の支援が必要なので、男性をターゲットにしたセミナーをしてみたらいいのではないかな。
- ・参加者を集めるという目的であれば、お祭りなどをして出店を出せば人はたくさん集まるかもしれないが、真の啓発となるかは不透明である。
- ・今年のDVの啓発セミナーで、護身術と講演を組み合わせたのは、良かった。統計等の情報を話す講話のみは退屈なので、スタンプラリーや漫談を取り入れるなど、楽しみながら学べるような講座があればいい。
- ・家事を男女共同でしている家庭が若い世代を中心に多くなった。その中で、家事・育児のやり方が父親と母親で異なる場合、常に母親のやり方が正しく、父親のやり方が間違っていると家庭の中できちんと成りがちである。日頃家事・育児に従事している男性が集まり、お互いに褒め称え合うような講座があってもいいのではないかな。また男性が男女共同参画の講座に参加するだけでも、貴重な存在なので、参加したらそれだけでも偉いと言ってもらえるような講座もあっていいと思う。
- ・男女共同参画については世代間の意識の異なりも大きいので、若い世代、高校生をターゲットにした講座もあっていいと思う。30～40代の男性の中にも家事・育児を全くしない人がいるので、中学生・高校生のうちから、家事・育児を共同であることを意識づける啓発活動が必要である。
- ・中高年の世代が男女共同参画の意識がまだまだ浸透しておらず、啓発が必要なので、講座はやはり全世代を対象にして実施した方がいい。
- ・確かに参加者は募集定員より少ないが、それでも参加者が集まるということは、参加者は少ないながらも講座は継続していった方がいい。

Q3. 講座以外の啓発活動の有効な方法として、あなたはどのような手段・方法があると思えますか？どのようにしたら、男女共同参画についての関心を高められると思えますか？

- ・フレスポ鳥栖には平日も子育て世代の人が集まるので、そこで風船やティッシュと一緒に啓発チラシを配布する等の啓発活動をしてもいいのではないかな。
- ・大阪府や東京都、埼玉県の自治体では「1日保育」という、保護者が1日保育士の仕事を体験する活動がある。参加することでかなり育児に関する意識が変わるようだ。鳥栖市でもそうした取組ができればいい。また、保護者だけでなく、家事・育児を日頃手伝う祖父母も参加できるといい。
- ・男女で家事・育児に関する役割分担意識を植え付けられないようにする家庭の中でのしつけや、育児休業等が取りやすいようにする職場での雰囲気づくりも必要である。

### 3 その他

- 前回の会議で質問があった、育児休暇についての国からの補助の変遷と、育児休暇取得数の推移について、事務局より説明。